

2019年3月29日

九州新幹線全通 8 年後の利用状況調査

株式会社 九州経済研究所

【調査結果のポイント】**●居住地、目的地**

- ・ 県外居住者の利用割合は 51.8%で、本県居住者の利用割合 48.2%を上回り、前回調査（18年3月）の 60.0%を下回った（図表 1）。

●利用目的

- ・ 利用目的別にみると、調査対象全体では「ビジネス」が 33.1%と最も多く、次いで「観光・レジャー（28.5%）」となった（図表 3）。県外居住者の「観光・レジャー」目的が 32.5%と前回調査（44.7%）を大きく下回った。

●日帰り・宿泊状況

- ・ 他県居住者の「観光・レジャー」での有料宿泊の割合は 59.4%と、前回調査の 66.1%から減少した（図表 7）。一方で、日帰りは 34.5%と前回調査の 29.1%から上昇した。「ビジネス」でも同様に、有料宿泊の割合が低下し、日帰りが上昇しており、九州外からの利用者の割合の低下で日帰りが増加したと考えられる。

●県外観光客に対するアンケート

- ・ 県外観光客に鹿児島を再訪したいか尋ねたところ、「ぜひ来たい（65.3%）」「機会があれば来たい（29.3%）」の合計（94.6%）が前回（92.4%）を上回り、県外観光客のリピーター希望はさらに高まっている（図表 16）。
- ・ 県外観光客にソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を使って発信したか尋ねたところ、「発信した」が 25.6%、「発信していない」が 20.2%となった（図表 17）。発信した内容は前回同様「食べ物」「桜島」「温泉」などが多かった。また、発信者の割合は男性が 58.1%（前回 68.7%）、女性が 41.9%（前回 31.3%）と女性の割合が増え、SNS 発信者の年代別比率は「20代（41.9%）」「40代（27.9%）」の順となった（図表 18、19）。

株式会社 九州経済研究所

【調査概要】

- 調査目的 本調査は九州新幹線の利用状況を把握し、今後の観光振興などに生かしてもらうことを目的に 2004 年部分開業の翌年から毎年 3 月に実施している。今回 3 月調査としては 15 回目であるが、昨年明治維新 150 年や大河ドラマ放映を経て九州新幹線の利用状況がどうなっているか調査し、県内企業の事業活動などに役立ててもらおうことを目的とした。
- 調査実施日 2019 年 3 月 6 日（水）、8 日（金）、9 日（土）、10 日（日）の 4 日間
9：00～10：30、14：00～15：30、18：30～20：00 の各時間帯
- 調査場所 鹿児島中央駅の新幹線改札内コンコース
- 調査対象 調査期間中の九州新幹線乗降客から無作為抽出
- 有効回答 1,797 件
- 調査方法 面接による直接聞き取り

【調査結果】

1. 居住地、目的地

- ・ 県外居住者の利用割合は 51.8%で、本県居住者の利用割合 48.2%を上回ったものの、前回調査（18 年 3 月）の 60.0%を下回った（図表 1）。
- ・ 本県居住者の目的地をみると、県外が 7 割超となっており、県外のうち九州外の割合が 10.7%となっている（図表 2）。また、県内移動では鹿児島市（前回 22.8%→今回 21.5%）、薩摩川内市（同 3.8%→2.3%）ともに前回調査をわずかに下回り、出水市（同 1.3%→2.2%）はわずかに上回った。

2. 利用目的

- ・ 利用目的別にみると、調査対象全体では「ビジネス」が 33.1%と最も多く、次いで「観光・レジャー（28.5%）」となった（図表 3）。
- ・ 本県居住者の利用は「ビジネス」が 30.7%と最も多く、次いで「観光・レジャー（24.2%）」「親戚・友人に会う（11.5%）」となった。
- ・ 県外居住者の利用目的も「ビジネス」が 35.3%と最も多く、「観光・レジャー（32.5%）」は前回（44.7%）を大きく下回った。前は NHK 大河ドラマ「西郷どん」や明治維新 150 年効果で県外観光客が増加したが、今回はその反動減が表れている。
- ・ 本県居住者の利用目的を移動別にみると、県内移動では「通勤・通学」が 35.7%と最も多い（図表 4）。次いで「ビジネス（16.1%）」「買い物（14.1%）」となっている。県外移動では「ビジネス」が 35.5%で最も多く、次いで「観光・レジャー（32.1%）」だった。

3. 利用頻度

- ・ 利用頻度をみると、調査対象全体と本県居住者、県外居住者のいずれも「複数回利用」とした割合が5割超となった(図表5)。また、本県居住者の利用頻度を移動別にみると、県内移動においては「定期的に利用」が42.9%と最も多く、「複数回利用」「ほぼ毎日利用」との合計は100%となっており、県民の日常の移動手段として定着している(図表6)。

4. 県外居住者の日帰り・宿泊状況

- ・ 県外居住者の「観光・レジャー」利用で「有料宿泊(前回66.1%→今回59.4%)」は前年を下回った(図表7)。一方で「日帰り(同29.1%→34.5%)」、「その他(無料宿泊など)(同4.7%→6.1%)」は前年を上回った。
- ・ 「ビジネス」での有料宿泊は59.1%(前回57.2%)と増加し、また日帰りも35.7%(同35.2%)とわずかに増加した。

5. 県外居住者の平均消費額

- ・ 本県における県外居住者の平均消費額は、「飲食費」を除き全て前年を下回っている。「観光・レジャー」の宿泊費は1万8,478円(前回2万8,389円)で大きく減少しており、全体の水準を押し下げている。

6. 鹿児島を訪れた回数

- ・ 県外居住者の来鹿回数は、「初めて」が12.0%と前回調査の17.9%から5.9%減少し、「5回以上」は65.3%と前回は大きく上回った(図表9)。
- ・ 利用目的別にみると「観光・レジャー」では「初めて」が26.9%と前回調査の29.2%から2.3%減少し、「2~4回」「5回以上」の合計が前年を上回った。
- ・ 「ビジネス」では「5回以上」が83.2%と前回調査の76.1%から7.1%増加した。

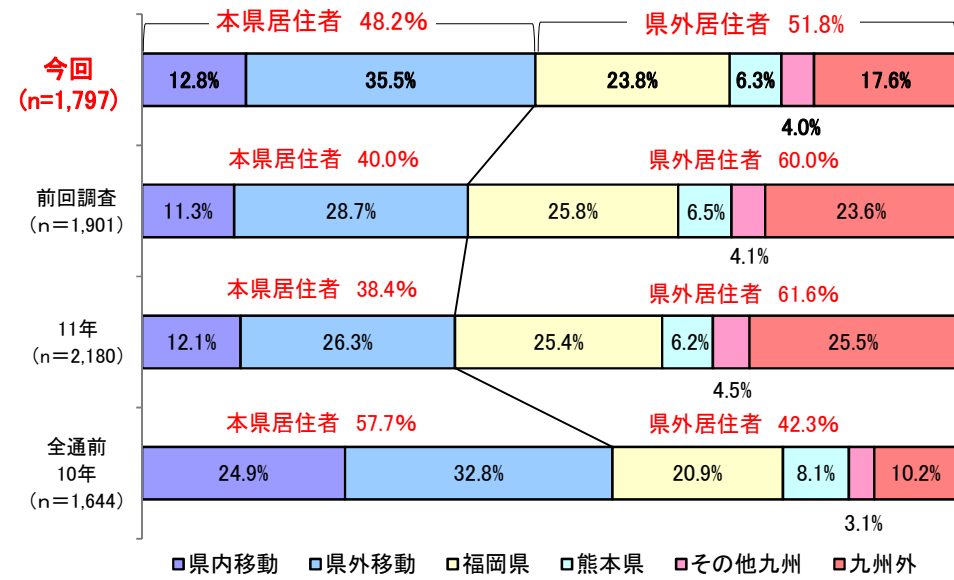
7. 県外観光客へのアンケート

- ・ 鹿児島を訪れたきっかけ(今回新設)は「口コミ(知人・友人から)」が22.6%と最も多かった(図表10)。また昨年放送されたNHK大河ドラマ「西郷どん」がきっかけとなったのは5.4%でSNS(4.2%)、TV・ラジオ(3.0%)を上回った。
- ・ 訪問地は「鹿児島市(78.7%)」が最も多く、「指宿(24.2%)」「霧島(8.3%)」「種子・屋久(3.8%)」「知覧(0.6%)」と続いた(図表11)。具体的には、桜島(34.1%)、天文館(32.3%)、仙巖園(24.0%)の順に多かった(図表12)。
- ・ 観光目的は「温泉」が36.4%と最も多く、次いで「自然・景観(33.3%)」「料理グルメ(25.5%)」「歴史・文化(23.6%)」となった(図表13)。
- ・ 情報収集手段は「インターネット(64.4%)」の利用割合が最も多かった(図表14)。「SNS(17.2%)」は前回(1.8%)から大きく増加し、「雑誌広告(12.3%)」「口

- コミ（知人・友人から）（11.7%）」を上回った。
- ・ 県外観光客の二次交通手段は「市電」の利用割合が 39.5%と最も多く、次いで「路線バス（34.1%）」「在来線（21.0%）」の順となっている（図表 15）。
 - ・ 県外観光客に鹿児島を再訪したいか尋ねたところ、「ぜひ来たい」が 65.3%で前回調査（66.0%）をやや下回ったものの、「ぜひ来たい」「機会があれば来たい」の合計は 94.6%と前回調査（92.4%）を 2.2 ㊦上回った（図表 16）。再訪したい理由としては、「まだ行ったことがない所がある」「食べ物がおいしい」「温泉がいい」などの声が挙がった。
 - ・ 県外観光客に SNS を使って発信したか尋ねたところ、「発信した」が 25.6%、「発信していない」が 20.2%、「SNS を利用していない」が 54.2%で、全回よりも発信した割合は 7.3 ㊦増加した（図表 17）。発信した内容は前年同様「食べ物」「桜島」「温泉」などが多かった。また、発信者の割合は男性が 58.1%、女性が 41.9%で、女性の割合が 10.6 ㊦増加した（図表 18）。SNS 発信者の年代別比率は「20 代（41.9%）」「40 代（27.9%）」「30 代（11.6%）」「10 代」「50 代」（ともに 7.0%）「60 代以上」（4.7%）の順となった（図表 19）。
 - ・ 鹿児島観光についての自由意見では「人が親切」「食べ物がおいしい」といった好意的な意見が県外客から多かった一方で、県内客、県外客ともに電車やバスの便数の増加や全国共通の交通系 IC カードの導入といった交通の利便性向上を求める声が多かった。

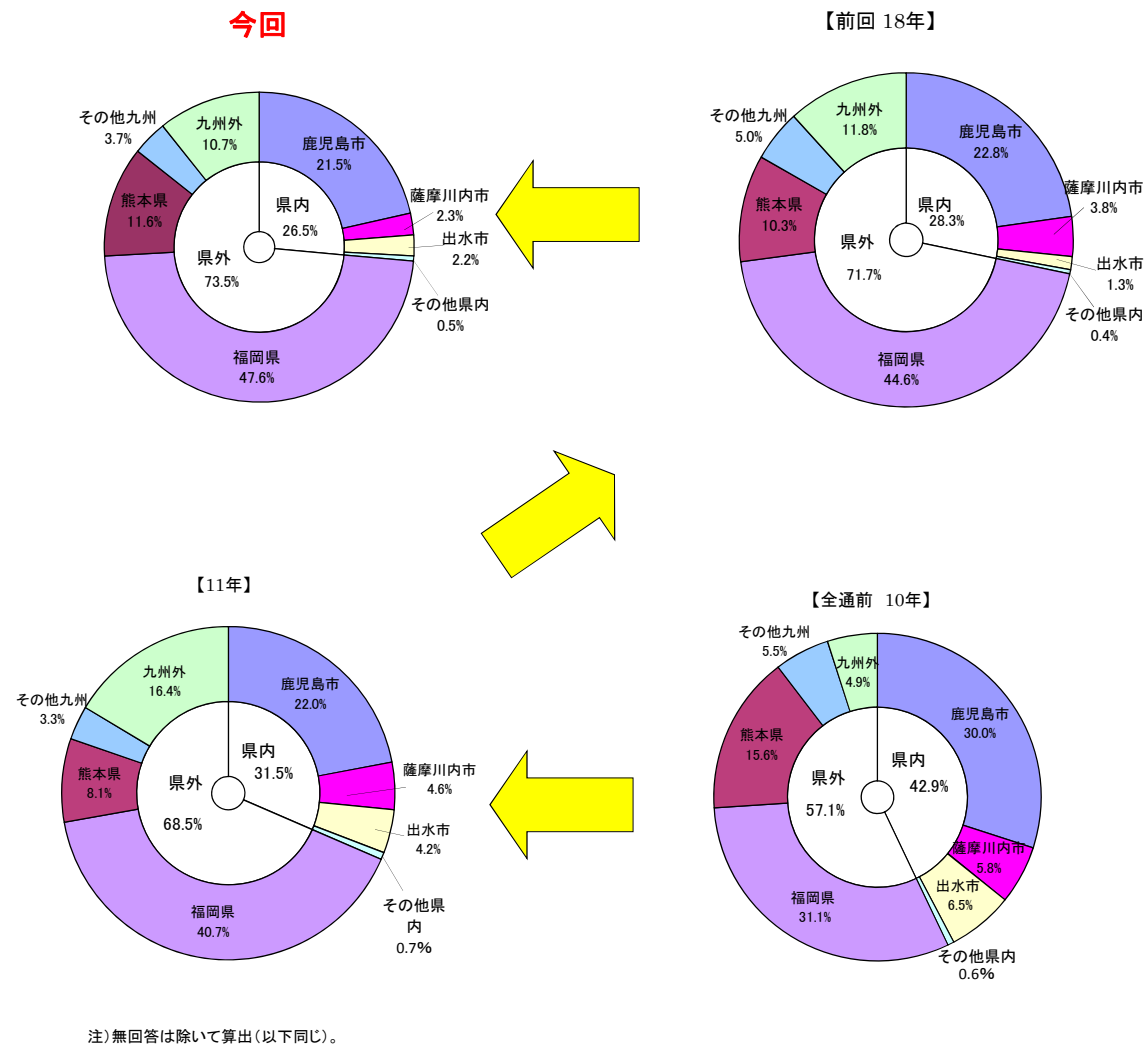
【本件に関するお問い合わせ】 経済調査部（Tel.099-225-7491）

図表1 居住地別利用者割合



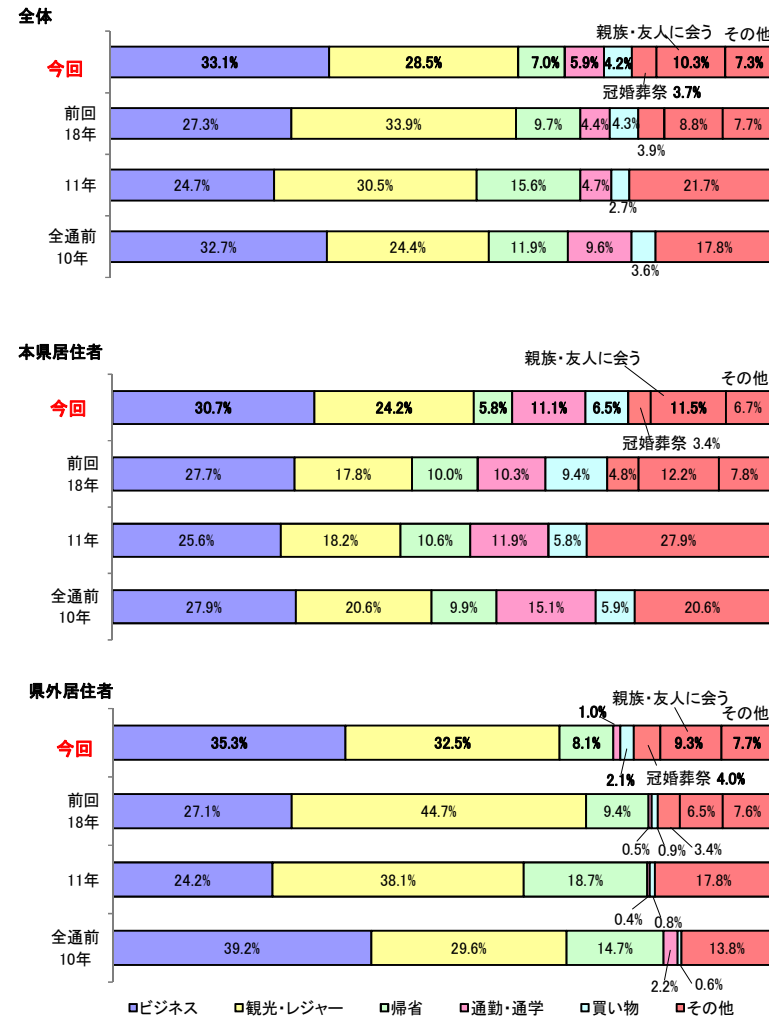
注) nは標本数
四捨五入を用いた算出により、合計と内訳が一致しない場合がある(以下同じ)。

図表2 本県居住者の目的地



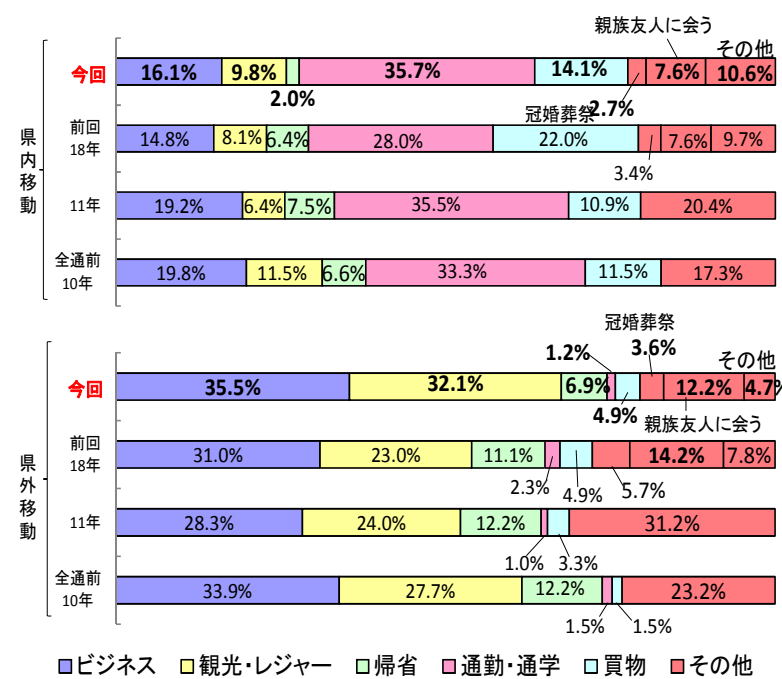
注) 無回答は除いて算出(以下同じ)。

図表3 新幹線利用者の利用目的



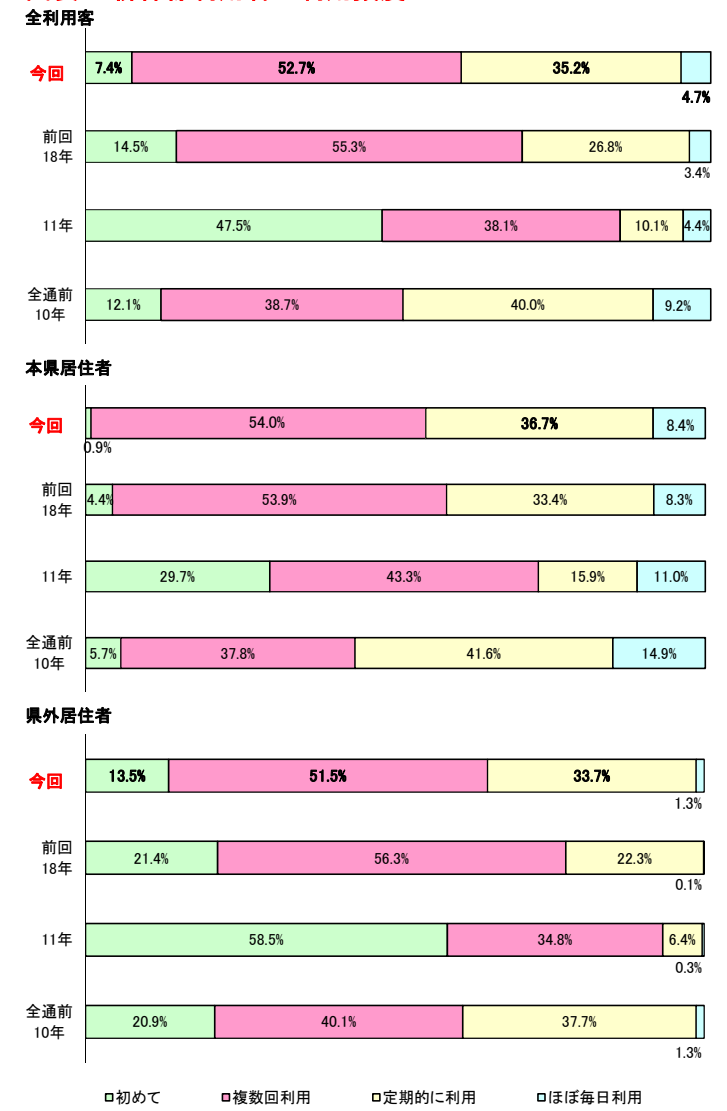
注) 17年調査からアンケート項目に、「親族・友人に会う」と「冠婚葬祭」を追加、以下同じ。

図表4 本県居住者の移動別利用目的

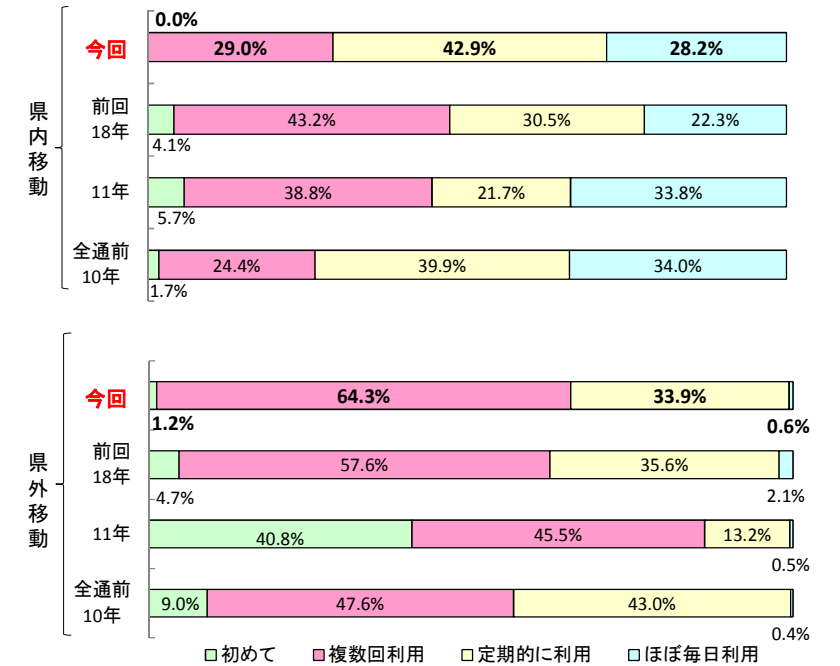


■ビジネス ■観光・レジャー ■帰省 ■通勤・通学 ■買物 ■その他

図表5 新幹線利用者の利用頻度



図表6 本県居住者の移動別利用頻度



図表7 県外居住者の日帰り・宿泊状況(利用目的別)

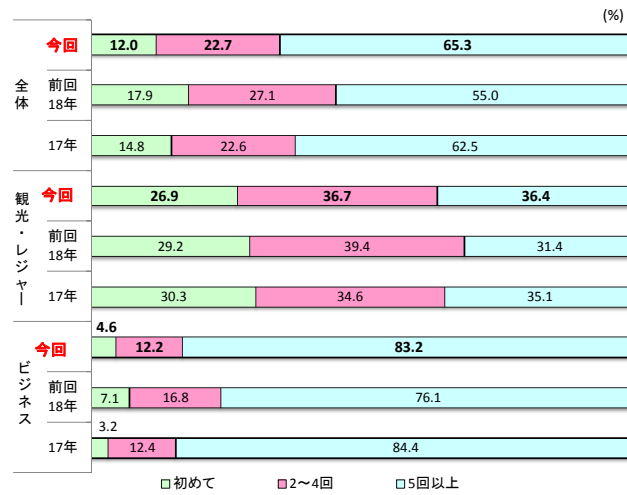
	有料宿泊				日帰り				その他(無料宿泊など)			
	全通前10年	11年	前回18年	今回	全通前10年	11年	前回18年	今回	全通前10年	11年	前回18年	今回
全体	52.5%	56.3%	54.2%	49.1%	26.6%	20.5%	30.4%	36.3%	20.9%	23.2%	15.4%	14.7%
観光・レジャー	70.9%	81.0%	66.1%	59.4%	25.2%	16.5%	29.1%	34.5%	3.9%	2.5%	4.7%	6.1%
ビジネス	67.3%	66.3%	57.2%	59.1%	29.8%	31.3%	35.2%	35.7%	2.9%	2.4%	7.7%	5.3%

図表8 県外居住者の本県における平均消費額(利用目的別)

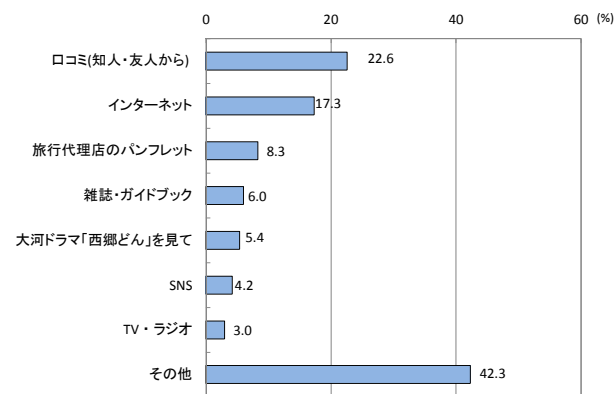
	(単位:円)				
	宿泊費	お土産・買い物費	飲食費	交通費	平均消費額
全体	16,494 (22,611)	7,636 (8,399)	9,728 (9,337)	5,834 (6,761)	9,527 (11,091)
観光・レジャー	18,478 (28,389)	9,770 (10,234)	8,927 (10,598)	5,712 (6,947)	10,202 (13,674)
ビジネス	12,619 (15,242)	4,434 (6,442)	10,137 (8,861)	5,497 (7,754)	8,466 (9,405)

注1) 下段の()内の金額は前回調査時の金額。
 注2) パック旅行の場合、パック料金に占める宿泊費を35%として試算。
 注3) 交通費は新幹線料金を除く。
 注4) 平均消費額は各項目で回答があった金額の総和を回答者の総数で除したのもの。

図表9 県外居住者の来鹿回数

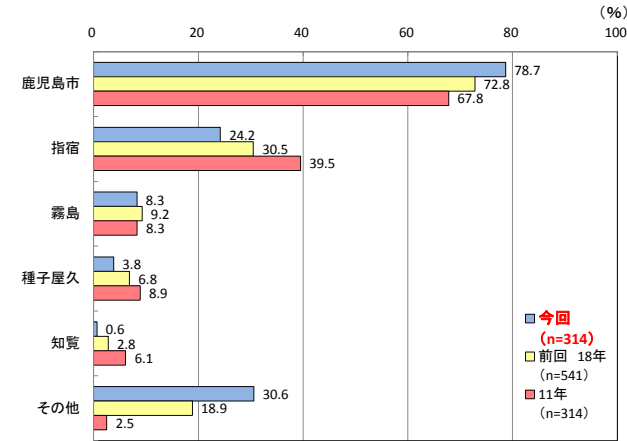


図表10 鹿児島を訪れたきっかけ(複数回答)

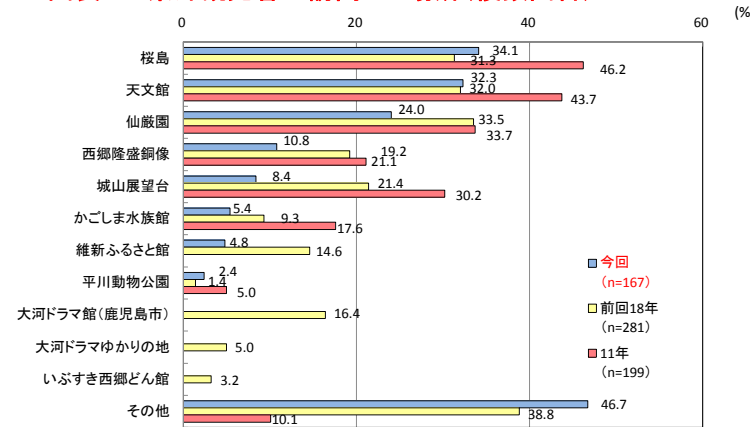


注) 今回調査より新設。

図表11 県外観光客の訪問した地域(複数回答)

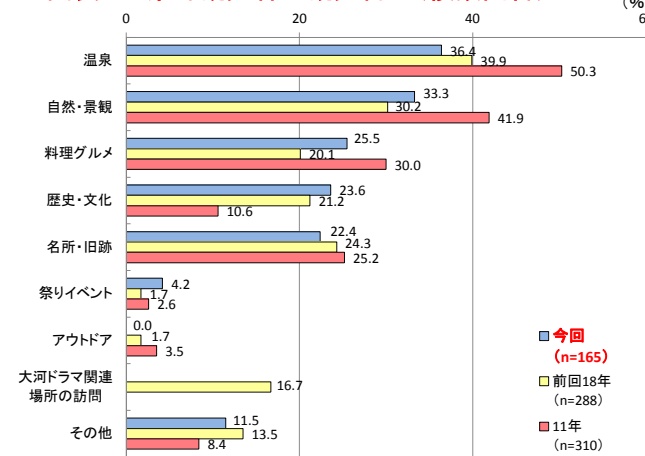


図表12 県外観光客の訪問した場所(複数回答)



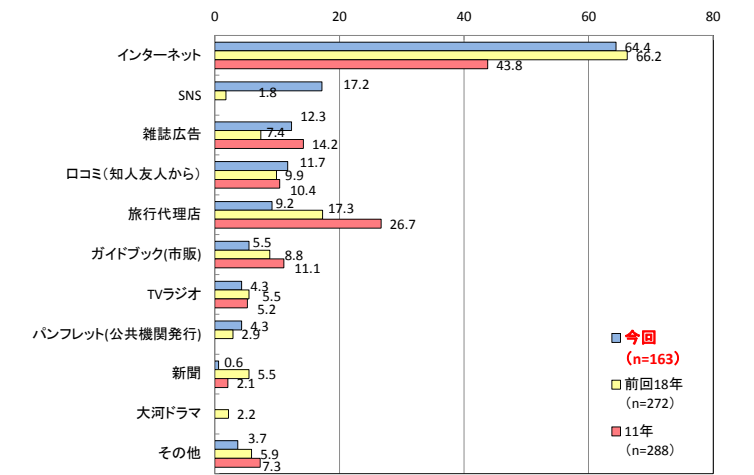
注) 18年以降は鹿児島市外に対象を広げたため、「その他」の割合が増加。「大河ドラマ館」、「大河ドラマゆかりの地」、「いぶすき西郷どん館」は18年のみ。「維新ふるさと館」は2011年調査時は対象外。

図表13 県外観光客の観光目的(複数回答)



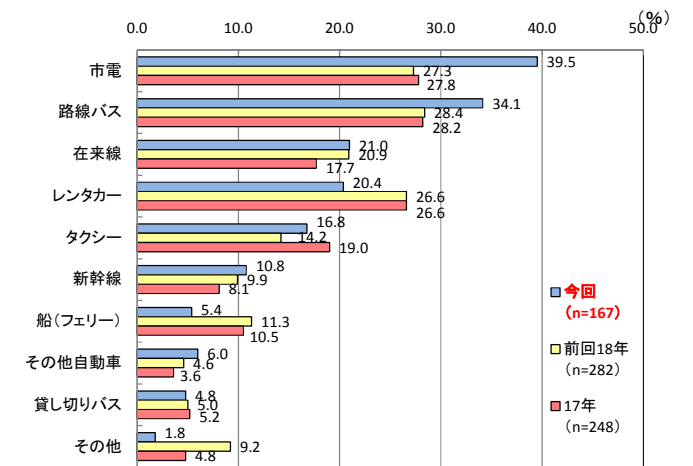
注) 「大河ドラマ関連場所の訪問」は18年のみ。

図表14 県外観光客の情報収集手段(複数回答)

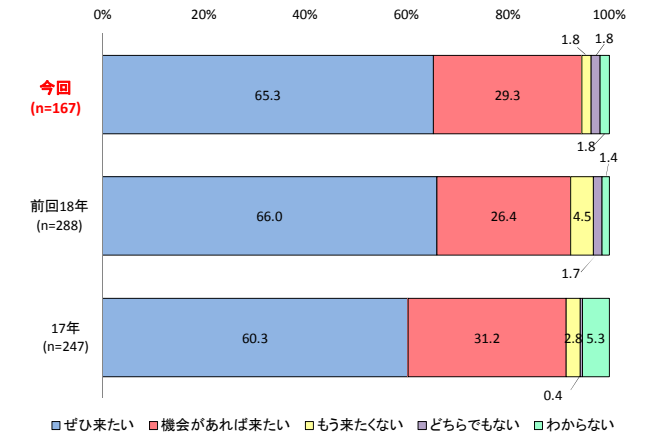


注) 「SNS」と「パンフレット(公共機関発行)」は2011年調査時は対象外。「大河ドラマ」は18年のみ。

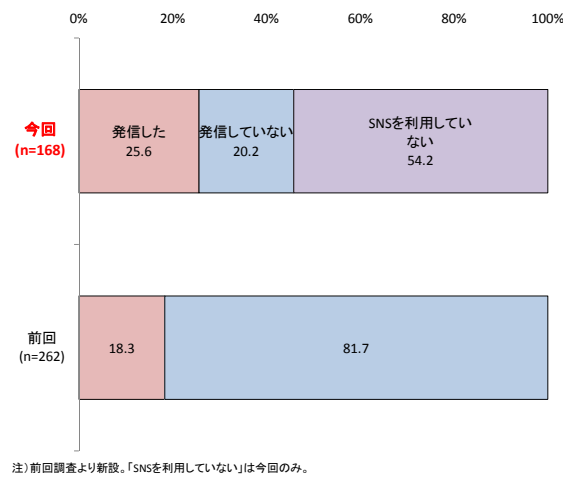
図表15 県外観光客の二次交通手段(複数回答)



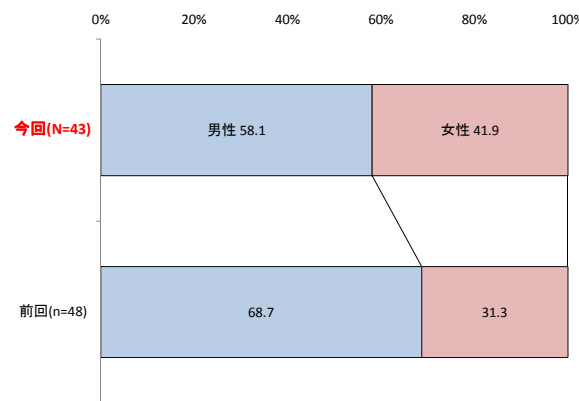
図表16 県外観光客の本県再訪希望



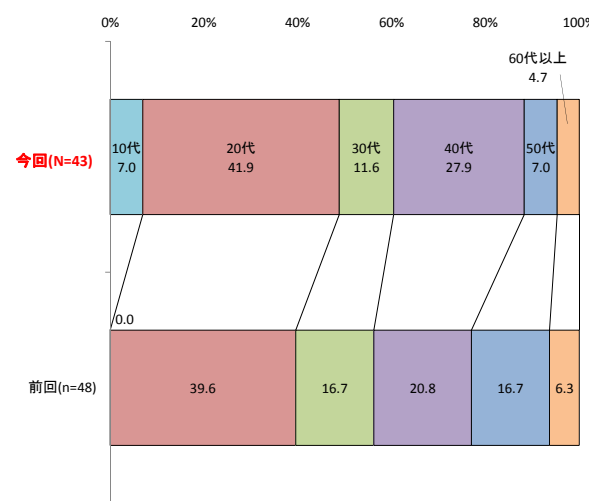
図表17 県外観光客のSNS発信



図表18 SNS発信者の男女別比率



図表19 SNS発信者の年代別比率



自由意見

鹿児島や鹿児島観光についての自由意見

～県内観光客～

食、温泉、歴史など素晴らしい。
 みんな気さくで優しい。
 ご飯がおいしい。
 市内はバスも多くて良い。
 このままでいい。
 九州の他の県と比べたら、ホテルとか温泉とか観光は充実している。
 道路の道案内(標識)が少ない。
 観光地への行き方を案内する標識が少ないため、観光客からよく道を聞かれる。
 バス停がわかりにくい。
 通学の電車をもう少し増やしてほしい。
 山道や芝生など自然のままではなく手を入れて整備したらよくなると思う。交通の便を良くしてほしい。
 もうちょっとよそから人が訪れるように、周遊パスなどがあると良い。
 桜島の観光に力を入れてほしい。
 箱売りではなく単品売りのお土産を売ってほしい
 小さい子どもが遊べる場所がほしい。
 地元の人間が地元を知らない。ぼんやりとした情報はNG。観光資源や歴史をもっとPR!
 古いものを大事にしてほしい。
 まだ開拓されていないところがあると思うので、そういったところのPRを。
 魅力はあるが、発信が不十分
 ①交通が不便(バスが行かないところがあり、次の便の待ち時間が長い)②市内のサービス業(運転手さんがなまっていて聞き取りづらい)③ラピカしか使えないから県外の方が不便。suicaとか全国的に使えるカードが使えるように。

～県外観光客～

近場に温泉があるのが魅力。
 シティビューがとても良くて、友人に紹介している。観光の交通の範囲を広げてほしい。
 名産品が多く、外国人観光客が多い印象。
 毎年菜の花マラソンに来ているが良い。どんどん(よいところを)伸ばしていって欲しい。
 料理が美味しい。
 観光案内所の人親切。
 天文館周辺の活気が戻ってきている気がする。
 温泉、仙巖園、知覧の特攻記念館が良かった。
 昔から変わらないところが良い
 千円のバスのフリーパスが良かった。
 free Wi-Fi がつながらなかった。
 知覧に興味があるが、交通手段がない、わからない。
 空港が遠い。
 市電の乗り場がちょっと怖い。
 電車が少なく、待ち時間が長い。
 市電の終電が早い。
 suicaなどのICカードが市電、市バスで使えないのが不便。
 飲食代が高い。タクシーの人が地元居酒屋の場所を良く知っているようにしてほしい。
 日本語が分からない人にとって不便な所が多い。
 標識(案内)をもっとわかりやすくしてほしい。
 PRの仕方、SNSとかで積極的に。
 交通の面を分かりやすくしてほしい。どこ方面のバスなのかなど…。
 九州は福岡と考えると、鹿児島島のPRを!
 アクセスがもうちょっと便利になってほしい。
 民泊を増やしてほしい。
 アナウンスの音をもっと聞こえるように(列車の音が大きい)
 全体をまわるルートバスをつくるべき。
 地方のバスの本数を増やしてほしい。
 大隅半島を整備してほしい。
 バスなど土日は本数を増やしてほしい。